



TOUGH DOME AIR/ 240+ HEXA SET

[タフドームエアー/240+ヘキサセット]

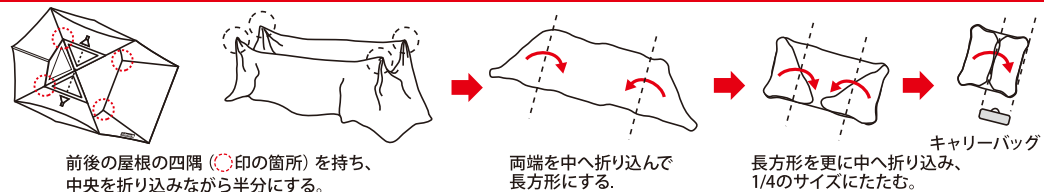
取扱い・組立て説明書



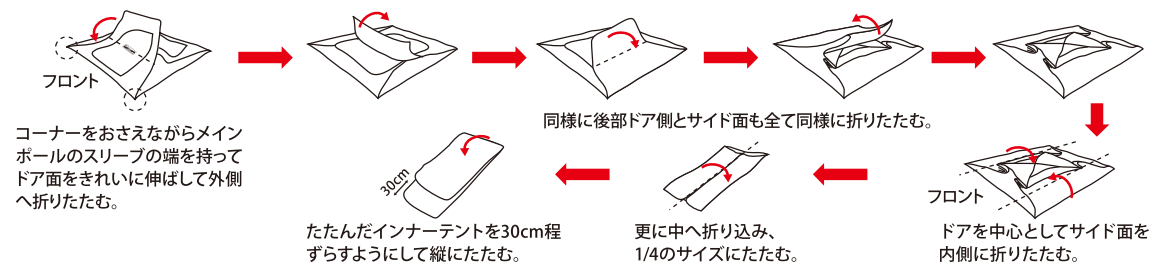
撤収手順 (テント)

- 1 フライシートを固定したロープ、ペグ、Dリングに掛けたフック、内側にある面ファスナーテープをすべて外して、フライシートをインナーテントから完全に取り外し、下図のようにしてたたみます。

注意 テント・タープ生地を濡れたまま収納しますと防水効果が著しく損なわれる為、ご使用後はフライシート・インナーテント(タープの場合スキン)の、汚れをよく落とし、十分乾かしてから収納・保管してください。



- 2 インナーテントのポールをすべて外し、空気を逃がすためにフロント・バックドアの下部をあらかじめ開けておいてから、四隅をきれいに広げ四角形になった状態で、下図のようにしてたたみます。



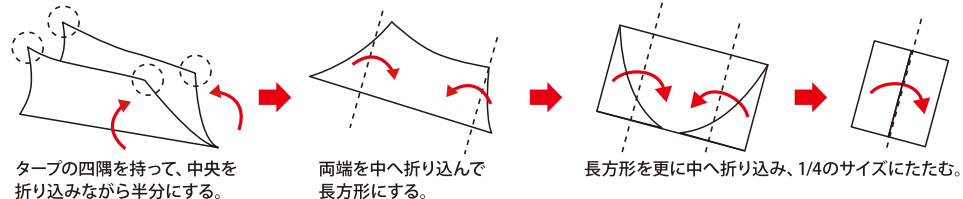
- 3 ポールを全ておりたたみポールケースに収納し、フライシートとインナーテントを下図のように巻いて、キャリーバッグに収納して完了です。



注意 ポールを収納する際は、真ん中から折りたたむようにすると、ショックコード(ゴム)全体に均一に、テンションがかかり、ショックコードの寿命を伸ばす事が出来ます。キャリーバッグに収納する際は、固く巻かないと入らない場合があります。

撤収手順 (タープ)

- 1 タープを固定したペグ、ロープ、ポールをすべて取り外し、下図のようにしてタープ本体をたたみます。



- 2 ポールをポールケースに収納し、タープ本体を下図のように巻いて、キャリーバッグに収納します。



注意 固く巻かないとキャリーバッグに入らない場合があります。

この取扱い説明書は大切に保管してください。

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

お問い合わせ

コールマンカスタマーサービス: 0120-111-957

受付時間:月曜日~金曜日(祝祭日を除く) 10:00~17:30

この度はコールマン製品をお買い上げいただき誠に有難うございました。設営の際には水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、石や木の枝等、本製品を傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。

組立・使用上の注意及び禁止事項

危険 この警告を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、人が死亡、または重傷を負う事故が想定される内容を表しています。

- テント、タープ内での火気の使用は、大変危険です。一酸化炭素中毒等、生命をおびやかすおそれがありますので、絶対におやめください。
- 台風、暴風雨、落雷等の悪天候の際は危険ですのでテント、タープの使用はおやめください。
- 河原の中洲や崖下などの増水、落石の危険のある場所にテント、タープを設営しないでください。

注意 この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- キャンプ場へお出かけの前に全ての部品が揃っているか確認してください。
- 無理な設営はポールや本体破損の原因となります。
- テント、タープの設営の際はグローブを着用してください。
- ポールを伸ばす際は各節を完全に差し込んでください。指を挟まないように注意してください。また、周囲に十分注意してください。近くに人がいないことを確認してください。
- テント本体を立ち上げる際はポールのはね返りに注意してください。
- ペグを打つ際にハンマーで指を打たないように注意してください。
- 小さいお子様にポールを組み立てやペグ打ちの作業をさせないでください。
- 風が強い時はテント、タープの設営を行わないでください。本体が飛ばされて思わぬ事故やポール折れ、本体破損の原因となります。
- テント、タープ設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、風の影響を受けにくい場所を選んでください。
- 石や木の枝等、テント、タープを傷つけるおそれのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設営してください。
- テント、タープ本体はペグとロープで確実に地面に固定してください。風で飛ばされたり雨水が溜まって思わぬ事故につながる場合があります。
- テント、タープを設営する場所によっては付属のペグが使用できない場合があります。あらかじめ行かれる場所の地面の状態を確認しておいてください。
- テント、タープから長時間離れる場合は必ず撤収してください。急な天候の変化、突風などにより、テント、タープが飛ばされて思わぬ事故の原因となります。
- 結露について
テントのフライシート、タープの生地には防水加工が施されていますので、外気との温度差が大きいと生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。これは水漏れではありません。テント、タープ内の換気を行うことで改善することができます。

収納・管理の注意

注意 この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- 使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。濡れたままの状態ですと、色移りやカビ発生の原因となります。
- 撤収時、雨などで本体を乾かせない場合は、持ち帰ったあとできるだけ早く乾燥させてください。そのまま放置しますと色移りやカビ発生の原因となります。
- 汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取りよく乾燥してから保管してください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤の使用は、色落ち、変色およびプリントや樹脂加工の剥がれの原因となります。
- ポール本体に付いた砂や土はきれいに拭き取ってから収納してください。また、濡れたまま収納しますと腐食の原因となります。
- 本体、収納ケースは洗濯しないでください。
- 幼児、子どもの手の届かない場所に保管してください。

各部の名称・セット内容

セット内容

お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

- [タフドームエア-/240+]
 ●インナーテント × 1
 ●フライシート × 1
 ●メインポール(シルバー) × 2

- フロントポール(ブラック) × 1

- リアポール(ブラック) × 1

- リッジポール(ブラック) × 1
 ●自在ロープ(グリーン) × 4
 ●自在ロープ(ベージュ) × 4
 ●スチールペグ × 13
 ●プラスチックペグ × 6
 ●ハンマー × 1
 ●メッシュハンガー × 1

[タフドームエア-/240+] インナーテント設置時



フライシート装着時



[リア側]



セット内容

お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

- [ウィンズヘキサ+]
 ●タープスキン × 1
 ●メインポール(ブラック) × 2
 ●自在ロープ(ロング) × 2
 ●自在ロープ(ショート) × 4
 ●プラスチックペグ × 8
 ●連結パーツ × 3

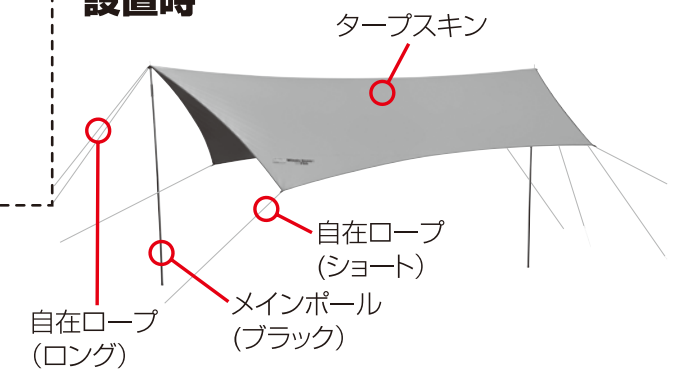
ランタンフック

[連結図]

連結パーツ



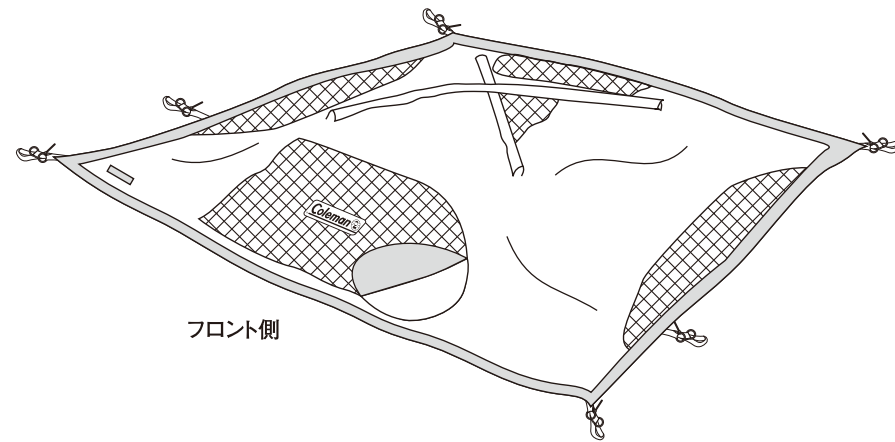
[ウィンズヘキサ+] 設置時



設営手順 (テント)

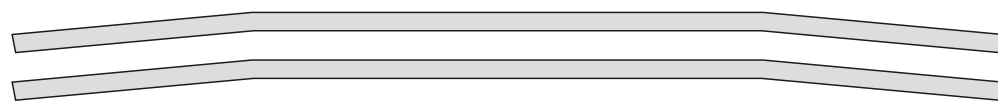
I インナーテントを広げる

1 インナーテントを広げます。コールマンロゴがメッシュドアにある方がフロント側になります。空気が入りやすいように、あらかじめ前後のドアのファスナーは一部開けておきます。



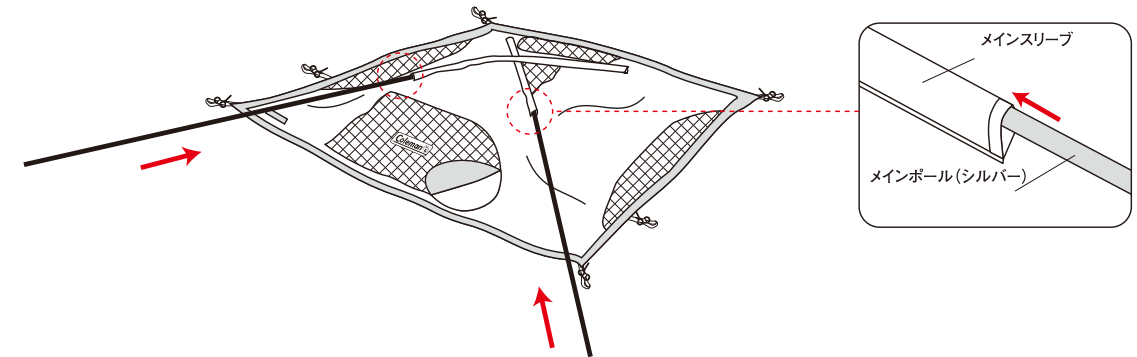
II 本体を立ち上げる

2 メインポール(シルバー)2本を伸ばします。



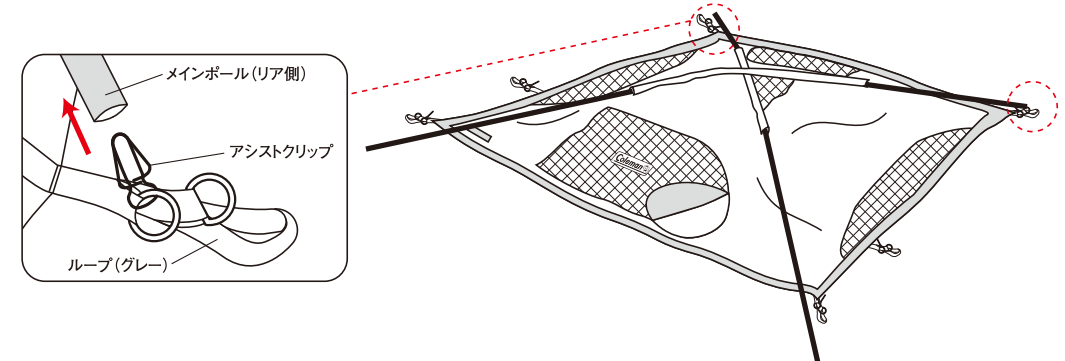
! ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

3 メインポール(シルバー)2本をスリーブに通します。



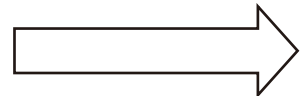
! ポールをスリーブに通す際は引っ張らず必ず押し入れてください。

4 メインポール(シルバー)2本のリア側の端を、インナーテントのコーナーにあるループ(グレー)についているアシストクリップにそれぞれ差し込みます。

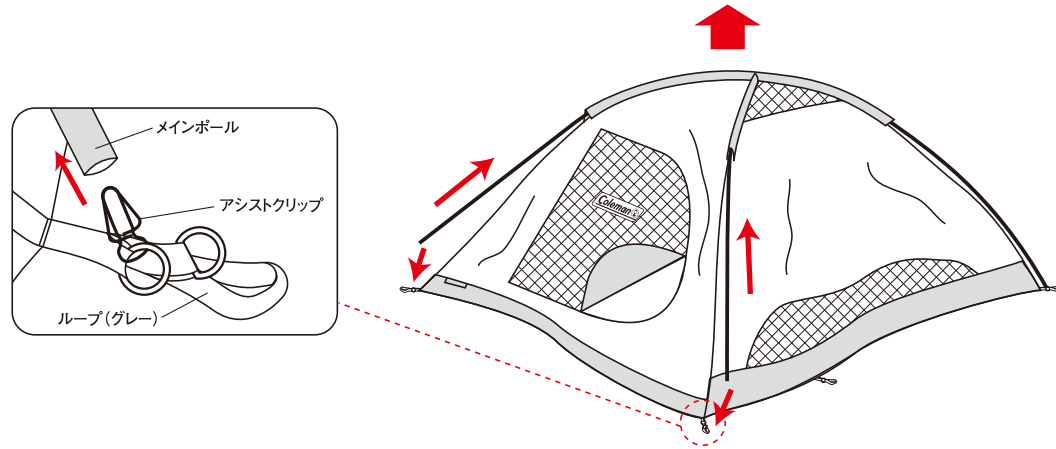


! ポールをアシストクリップに差し込む際、指をはさまないように注意してください。

1人で設営される方はA (P.17) へ



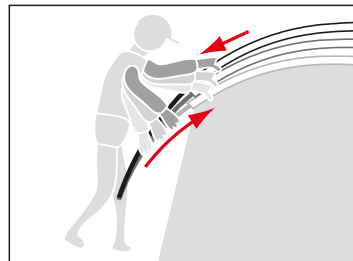
5 フロント側のスリーブの端を持ち、メインポール(シルバー)2本をそれぞれ押し入れながら、インナーテントを立ち上げます。ある程度立ち上がった後、スリーブの端からインナーテントの生地を持ち替えていきます。メインポール2本のフロント側の端を、インナーテントのコーナーにあるループ(グレー)についているアシストクリップにそれぞれ差し込みます。



設営時、ポールを釣り竿の様に持ち上げ禁止!



立ち上げの際は片手でスリーブを引きながら、もう片方の手でポールをゆっくりと押し入れます。スリーブを持たずに押し込むと、ポールが折れたり生地が破れたりします。



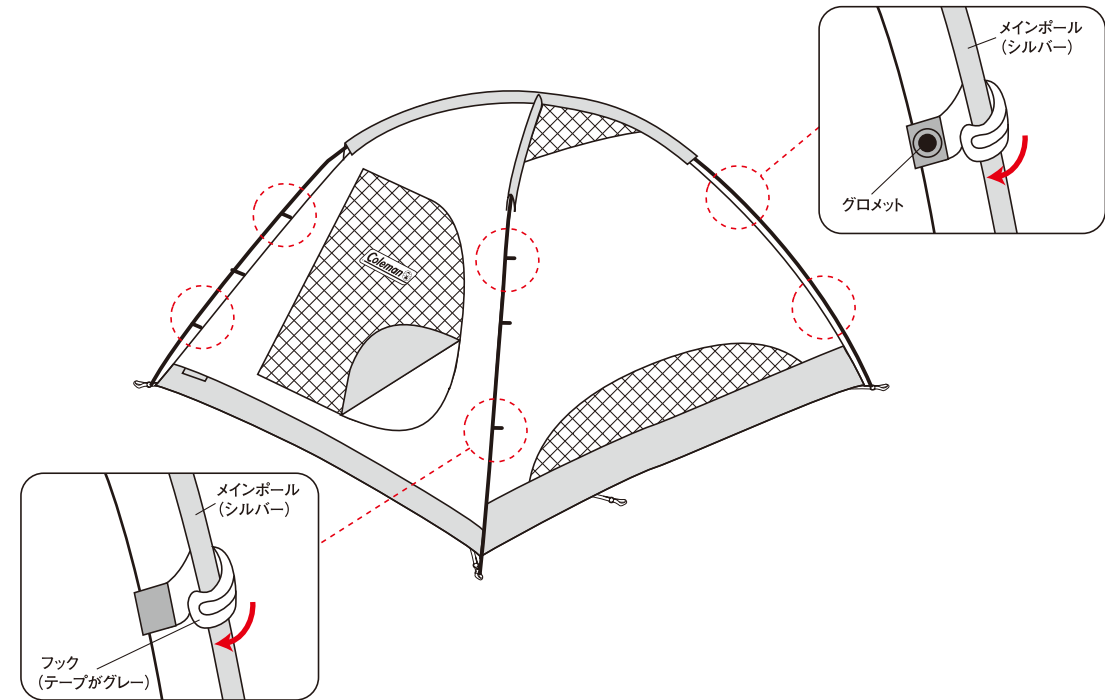
立ち上げの際は片手でスリーブを引きながら、もう片方の手でポールをゆっくりと押し入れます。

! メインポールは2人で2本同時に、徐々に立ち上げてください。

! ポールをアシストクリップに差し込む際、指をはさまないように注意してください。

➡ D (P.20) の続きはここから

6 インナーテントについているフック(テープがグレー)とリアポール用のグロメットが付いたフックをメインポール(シルバー)にかけ固定します。



! フックをポールにかけるとき、指をはさまないように注意してください。

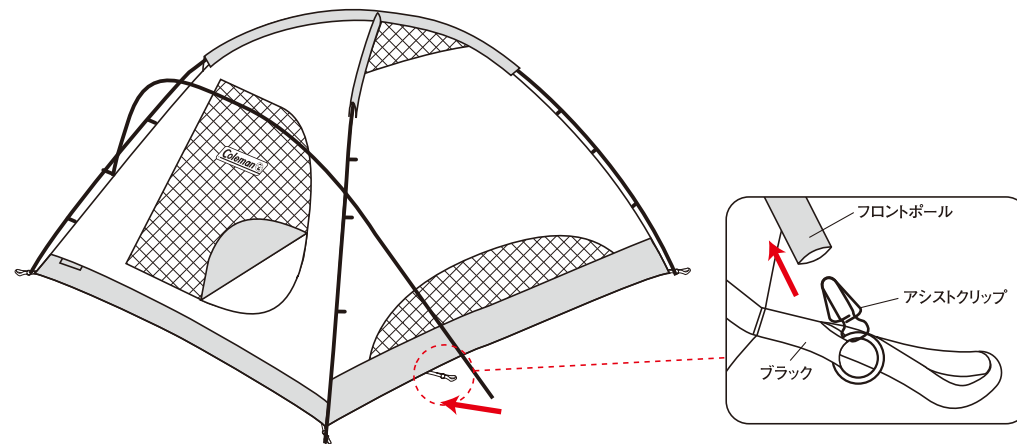
Ⅲ フロントポールをセットする

7 フロントポール(ブラック)をのばします。



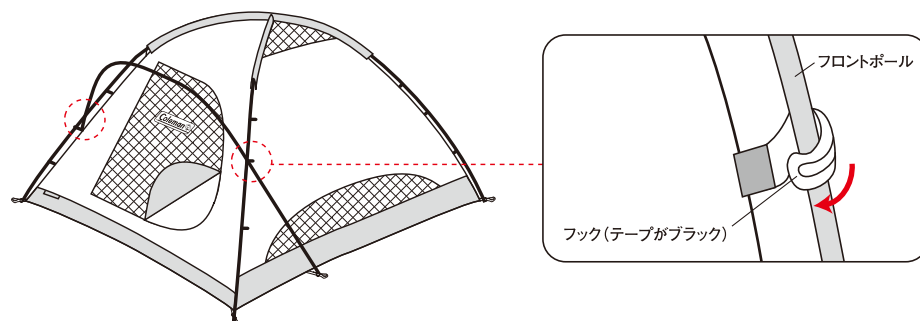
! ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

- 8 フロントポールの端を、インナーテント横にあるブラックのループについているアシストクリップに差し込み立ち上げます。



⚠️ ポールをアシストクリップに差し込む際、指をはさまないように注意してください。

- 9 インナーテントについているフック(テープがブラック)をフロントポールにかけ固定します。フライシートをかぶせた時に前室の部分として必要なポールです。



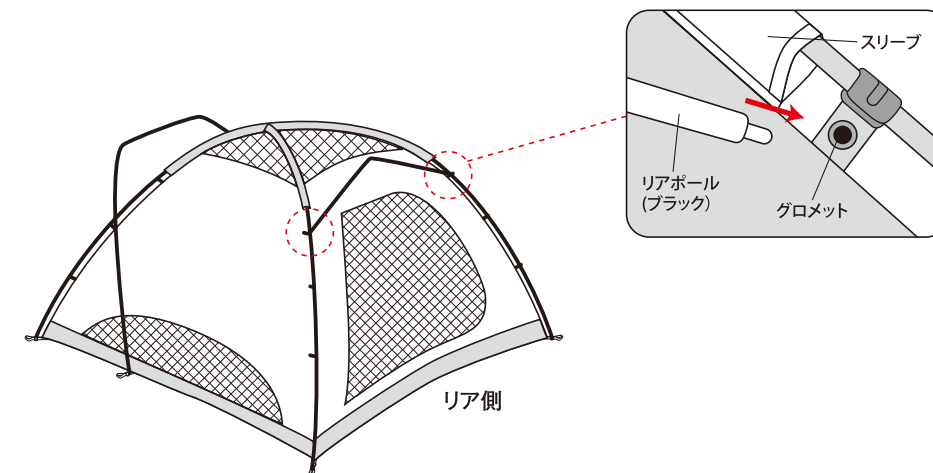
⚠️ フックをポールにかける際、指をはさまないように注意してください。

IV リアポールをセットする

- 10 リアポール(ブラック)をのばします。

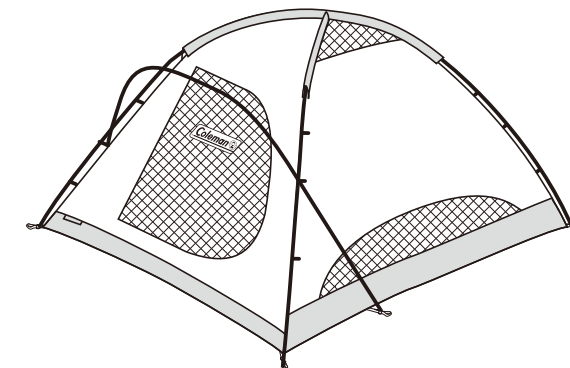


- 11 リアポール(ブラック)の両端を、グロメットに差し込みます。フライシートをかぶせた時に後室の部分として必要なポールです。



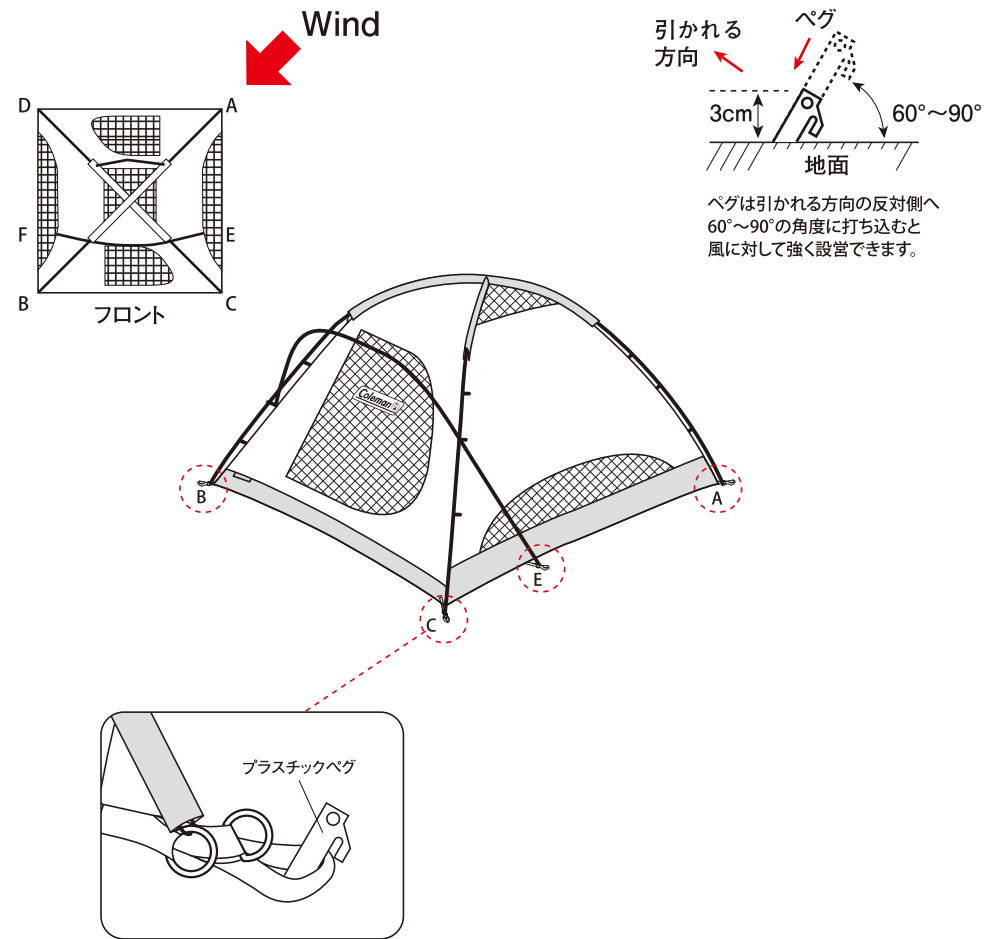
V 設営位置を決め固定する

- 12 前後のファスナーをすべて閉めます。



⚠️ ファスナーを開けたまま設営すると、ペグで固定した時にドアが閉まらなくなることがあります。

13 設営位置を決め、図のように6ヶ所のループを風上より順に(A~F)対角線にプラスチックペグを打ち込み、テントを固定します。



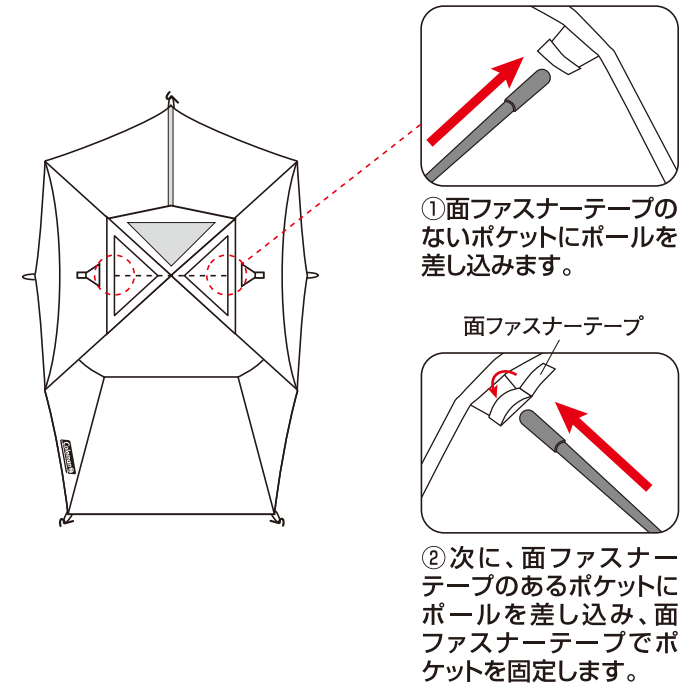
! フロアにしわがなくなるように、ループを少し引っ張りながらペグで固定してください。

VI リッジポールをセットする

14 リッジポール(ブラック)を伸ばします。

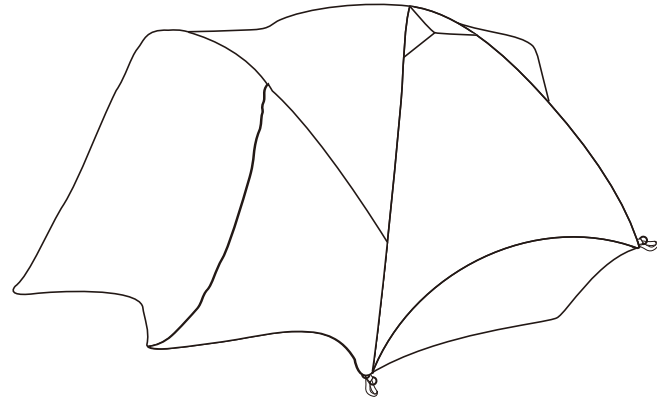
! ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

15 フライシートを広げ、ベンチレーションの端にあるポケットにリッジポールを差し込みます。もう一方のポケットを面ファスナーテープで固定します。

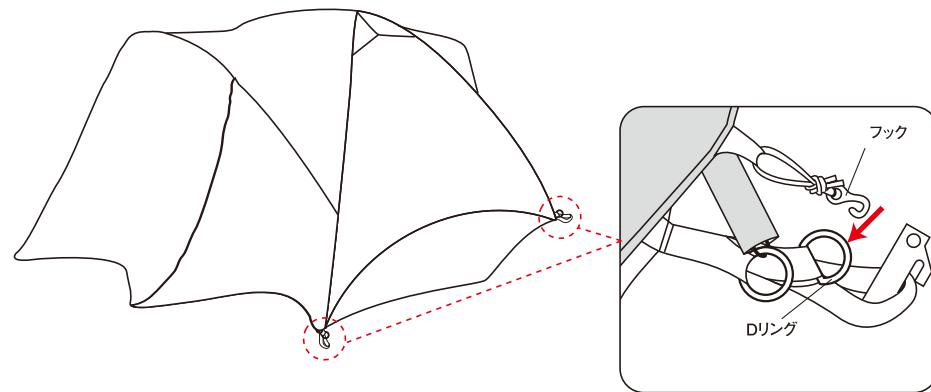


VII フライシートをかぶせる

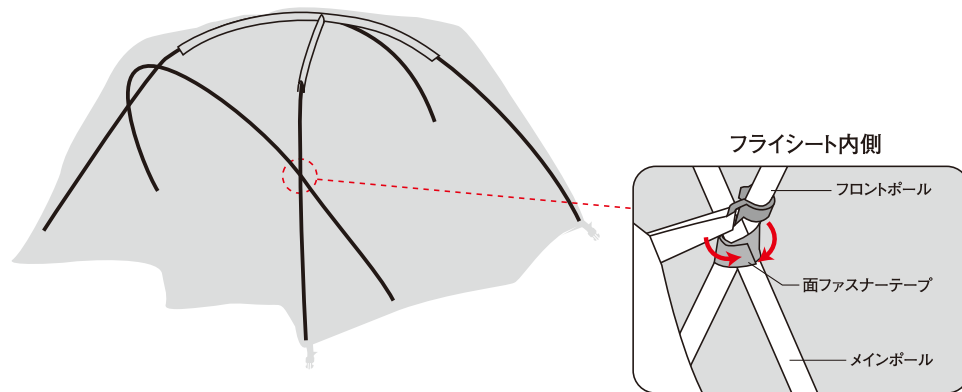
16 フライシートをかぶせます。この時に、フロントポール・リアポールはフライシートの内側になります。



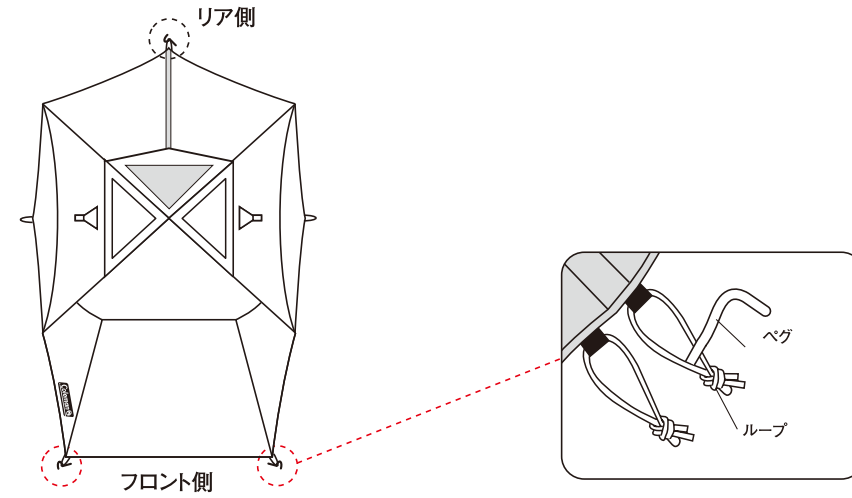
17 フライシートの端についているフックを、インナーテントコーナーのループについているDリングにかけます。



18 フライシート内側にある面ファスナーテープを、それぞれのポールにとめて固定します。

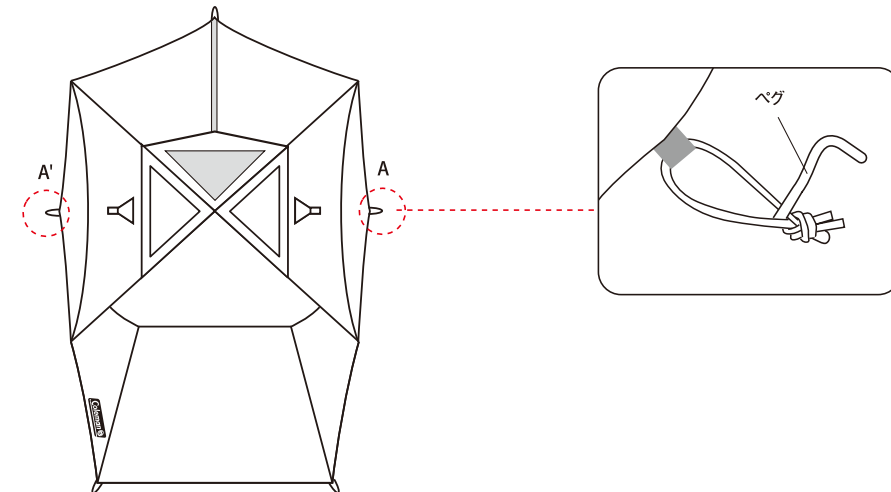


19 フロント、リア側のループを張り出し、ペグで固定します。



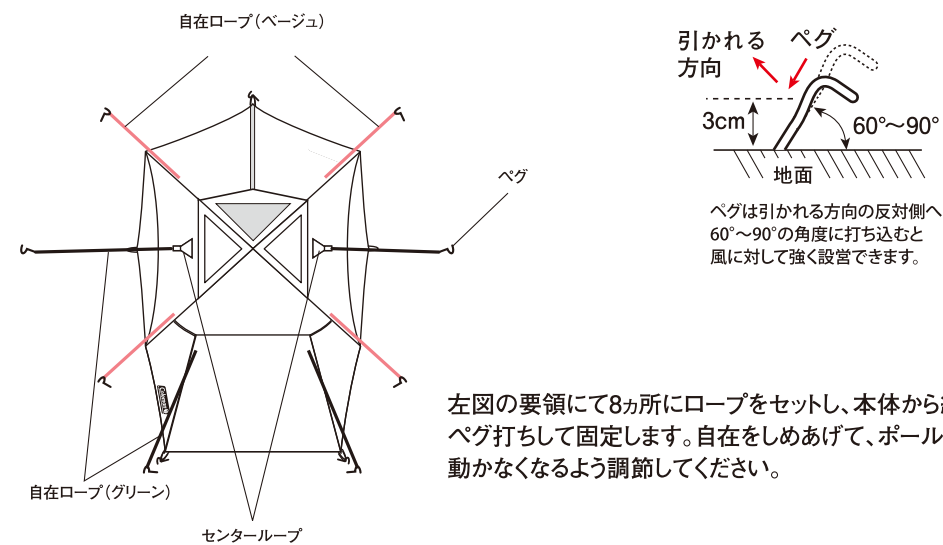
! ループをひきすぎないように注意してください。ファスナーに負担がかかりフライシートが破損するおそれがあります。
ペグで固定する前に、必ずファスナーを閉じておいてください。
ファスナーを開けたまま固定すると閉じれなくなる場合があります。

20 サイド(A・A')のループを外側に引っ張り、インナーテントから十分離れた場所にペグで固定します。外気の取入口となります。

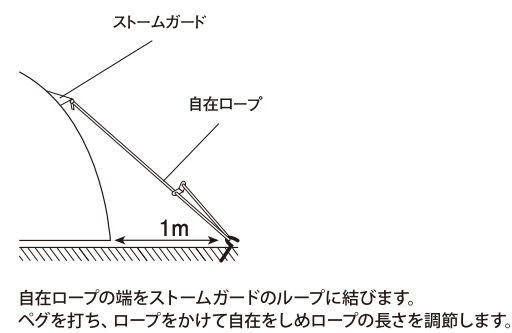


VIII ロープを張り固定する

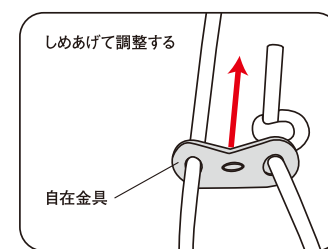
- 21** ストームガードシステム(ストームガードに付属のロープを結び、ペグで固定する方法)により、テントの安定性を高め、フライシートとインナーテントの接触を防ぎます。両側面にあるセンターループおよびストームガードに付属のロープを結び、図のようにペグで固定します。



左図の要領にて8か所にロープをセットし、本体から約1m程離れた位置にペグ打ちして固定します。自在をしめあげて、ポールが前後左右に大きく動かなくなるよう調節してください。



自在の使用方法

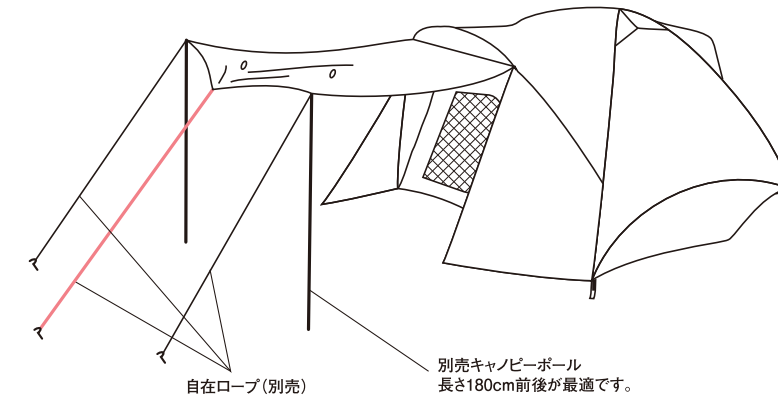


⚠️ 大きなサイズのテントは構造上、風の抵抗を受けやすくなっています。「ストームガード」を必ずご活用ください。

⚠️ フライシートはテントインナー室内と外気との温度差を緩和し、テント内側の結露を防止する役割を果たしています。センターループ・ストームガードを張り、フライシートとインナーテントの間に空間をつくるように、必ずご活用ください。

IX キャンピアーの活用など

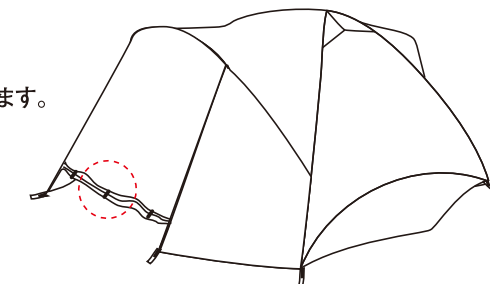
- 22** 前室をキャンピアーとして使用する場合は、別売のキャンピアーポールと自在ロープを使用します。



⚠️ 雨天にキャンピアーとして活用する場合は水がたまりやすくなります。その際はキャンピアーに傾斜を作るか、図のように中央部にロープを結びペグ止めて雨水を流してください。風の強い時は、必ずキャンピアーを閉じてください。ポールが折れるおそれがあります。

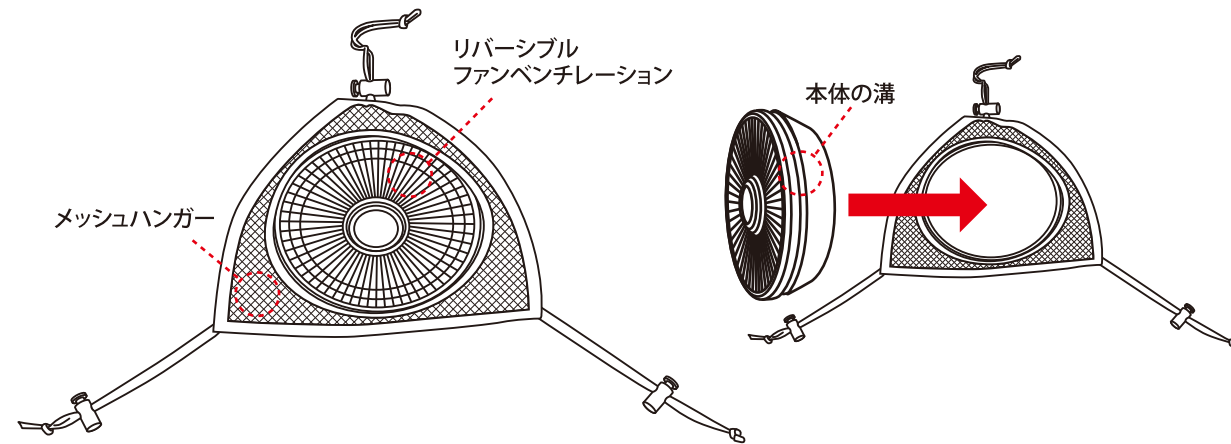
補足: フロントロールアップ (ハーフオープンキャンピアー)

フロントキャンピアーにはループとトグルが付いています。下から巻き上げて途中でとめることにより換気が可能になります。雨が降っているときなど、キャンピアーを閉じたまま換気したいときに有効です。

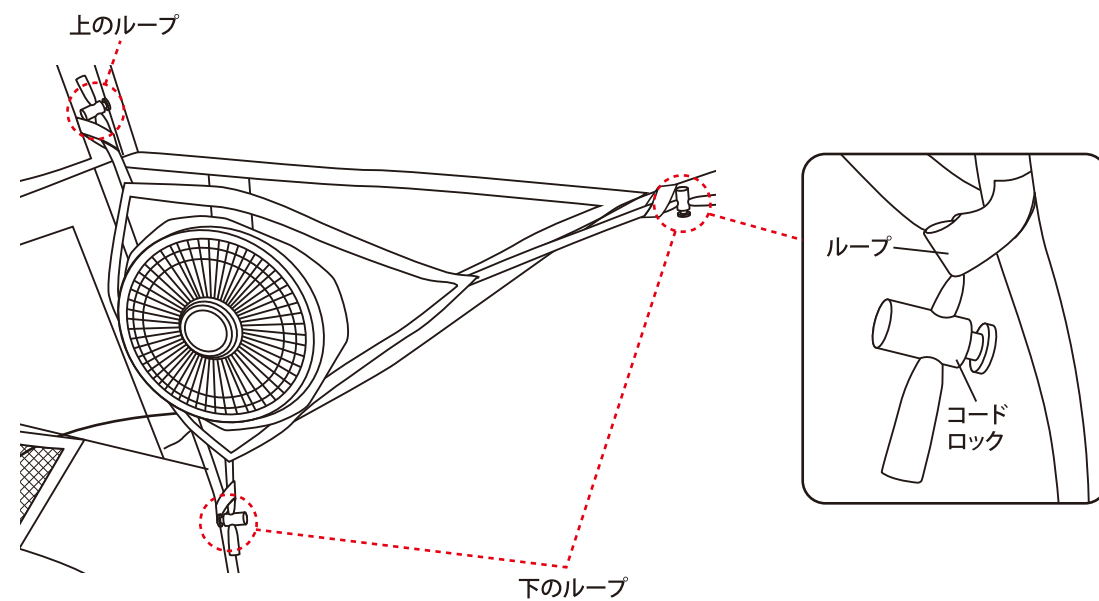


X リバーシブルファンベンチレーション(別売)の装着方法

23 付属のメッシュハンガーをリバーシブルファンベンチレーション本体の溝に固定します。
(メッシュハンガーは、どちらの面でも取り付けられます。)

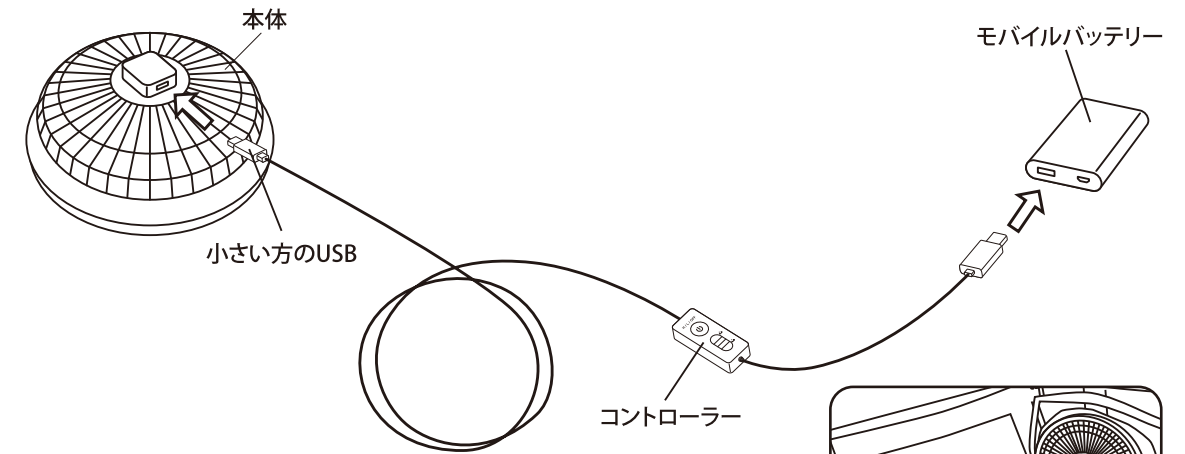


24 インナーテントの中にセットします。
インナーテントの中にある上のループに、メッシュハンガーの赤いひものコードロックを通します。同様に、下のループにメッシュハンガーのグレーのひものコードロックを通します。

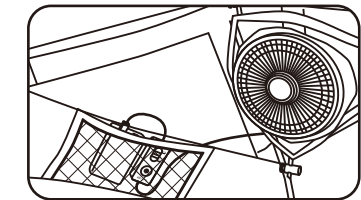


25 コントローラーを本体と市販のモバイルバッテリーに接続します。

- ① コントローラーにつながっている、小さい方の USB を本体に接続します。
- ② 反対側の USB をモバイルバッテリーに接続します。

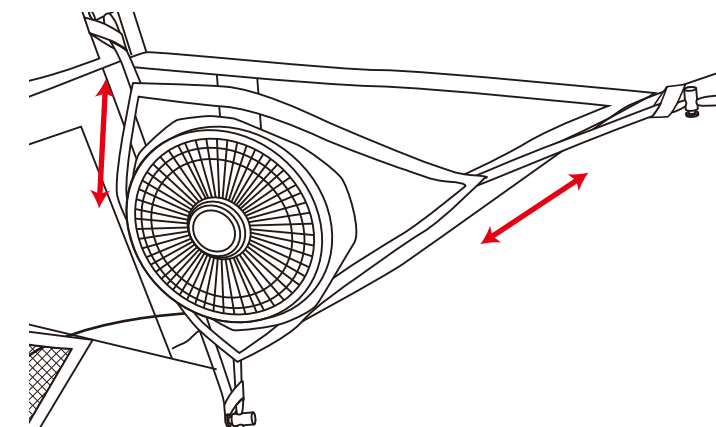


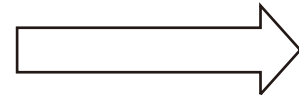
※ご使用方法は、リバーシブルファンベンチレーションの取扱説明書をご確認ください。



モバイルバッテリーとコントローラーはテント内にある側のメッシュポケットに収納できます。

26 リバーシブルファンベンチレーションの角度を調節します。
メッシュハンガーのコードロックで、本体の角度をベンチレーションの方向に調節します。また、扇風機として直接天井から風を受けたい時にも、コードロックで角度を調節してご利用ください。

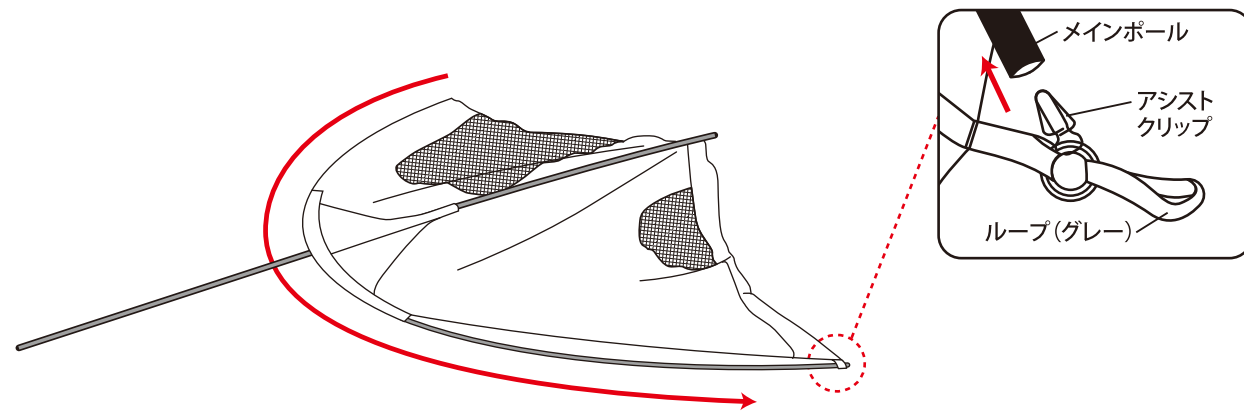




II-4 (P. 4)の続きはここから

1人で設営する場合

A 手前のメインポール（シルバー）がアシストクリップに固定されていない方のスリーブの端を持ち、メインポール（シルバー）1本をしっかりとスリーブに押し入れながらポールの端を、インナーテントのコーナーにあるループがグレーのアシストクリップに差し込みます。



注意

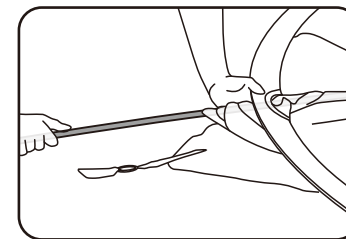
設置時のポールの形に注意してください。S字になるとポールへの負荷が強くなり立ち上がらなくなるため必ずアーチ状の形でポールを設置してください。



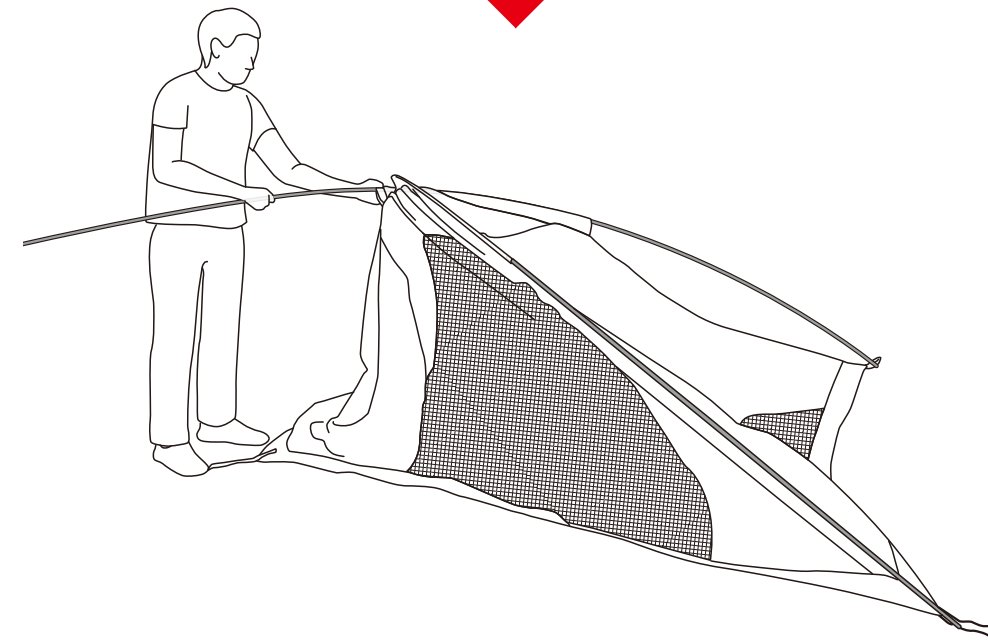
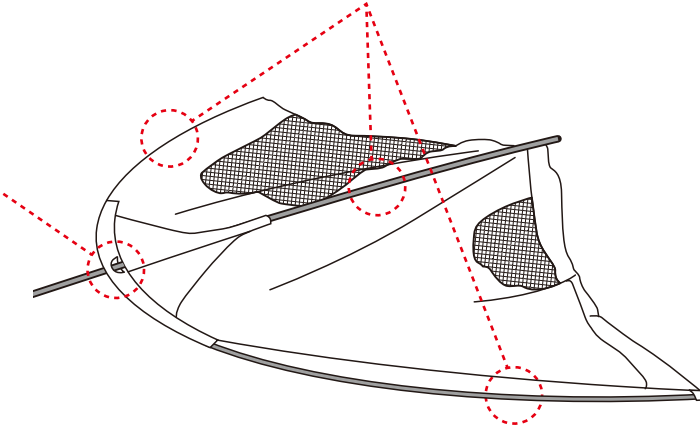
ポールをアシストクリップに差し込む際、指をはさまないように注意してください。

B メインポール（シルバー）のクロスしている中心の所を、胸辺りまで持ち上げながら、アシストクリップで固定されている3ヶ所のポールを立てさせます。

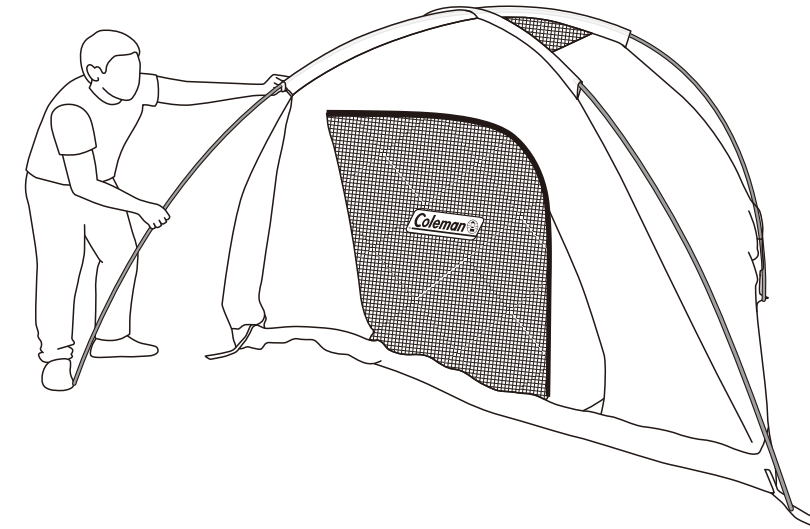
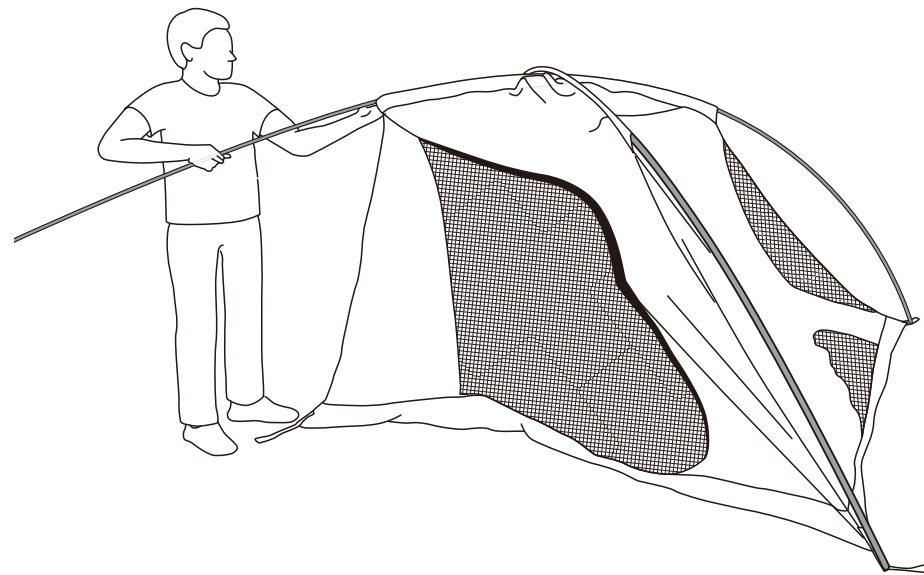
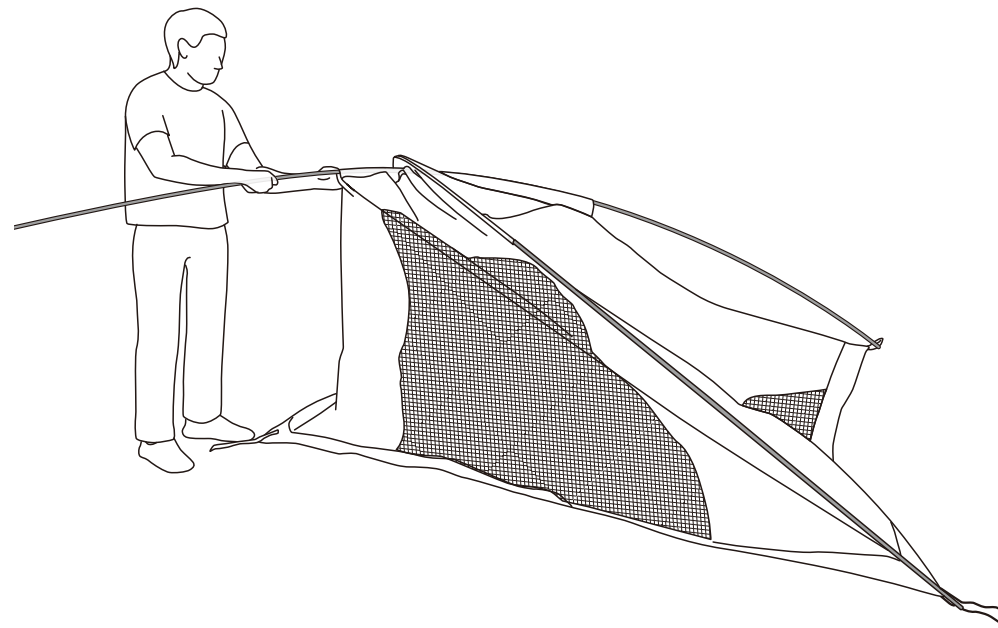
クロスしている中心を持ち上げて3ヶ所のポールを立てさせます。



※片方の手でポールを持ちながら、もう片方の手で中心を持ち上げていきます。



C 中心を持っている手をまだポールがアシストクリップに差し込まれていない方のスリーブの端に徐々に移動し、もう片方の手でポールを押しながらスリーブを引いていきます。

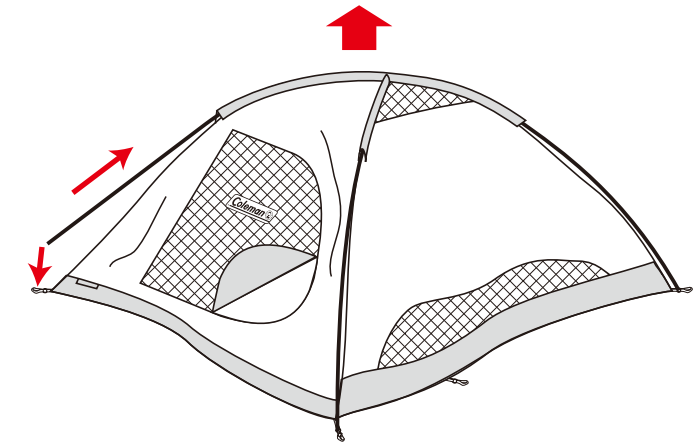
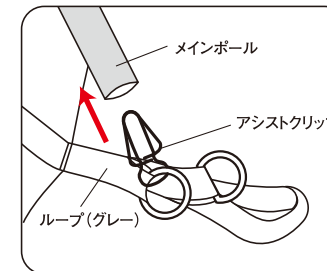


設営時、ポールを釣り竿の様に持ち上げ禁止!



立ち上げの際は片手でスリーブを引きながら、もう片方の手でポールをゆっくりと押し入れます。スリーブを持たずに押し込むと、ポールが折れたり生地が破れたりします。

D ポールがアシストクリップに差し込まれていない方のスリーブの端を持ち、メインポール(シルバー)を押し入れながら、インナーテントを立ち上げます。ある程度立ち上がった後、スリーブの端からインナーテントの生地に持ち替えていきます。まだアシストクリップに差し込まれていない側のメインポール(シルバー)の端を、インナーテントのコーナーにあるループ(グレー)がグレーのアシストクリップに差し込みます。



! 立ち上げの際は片手でスリーブを引きながら、もう片方の手でポールをゆっくりと押し入れます。スリーブを持たずに押し込むと、ポールが折れたり生地が破れたりします。

! ポールをアシストクリップに差し込む際、指をはさまないように注意してください。

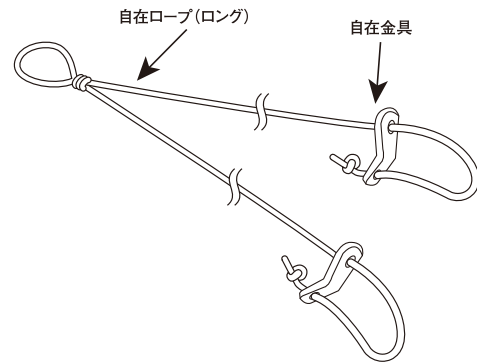
II-6(P.6)へ戻る



設営手順 (ウィンズヘキサ+)

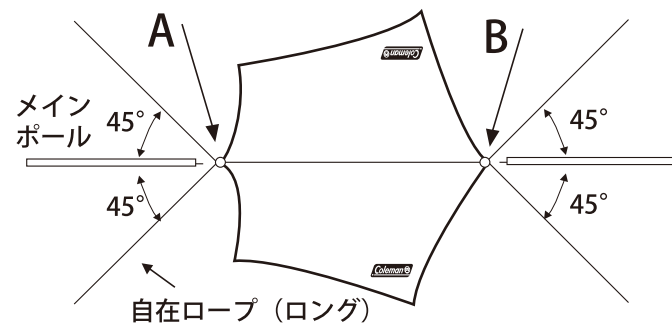
STEP 1

自在ロープ(ロング)の中間に輪を作ります。



STEP 2

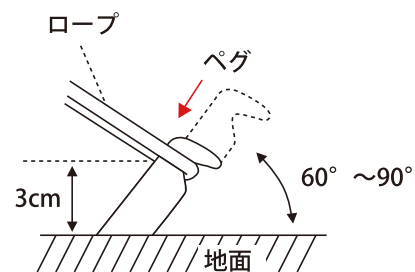
タープスキンを設営位置に広げ、自在ロープ(ロング)、メインポールを図のように配置します。自在ロープ(ロング)はメインポールから各々、約45°の方向に置きます。



! ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。タープを張る位置はできるだけ平らな場所をお選びください。また、右図のA、Bの場所には目印などを置くようにしてください。

STEP 3

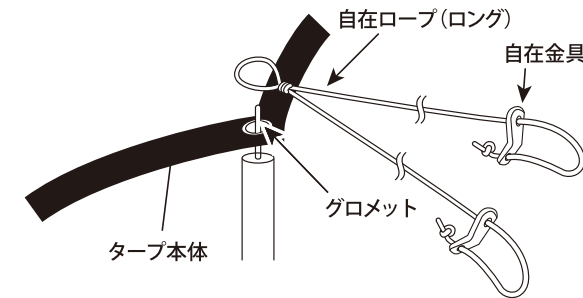
前図のように、自在ロープ(ロング)をポールの長さ程に伸ばした所に4ヶ所ペグを打ち、伸ばしたロープの先端はペグに掛けておきます。



! ペグは図のように地面から引かれる方向の反対側へ60°~90°の角度で打ち込みますと、風に対して強く設営できます。

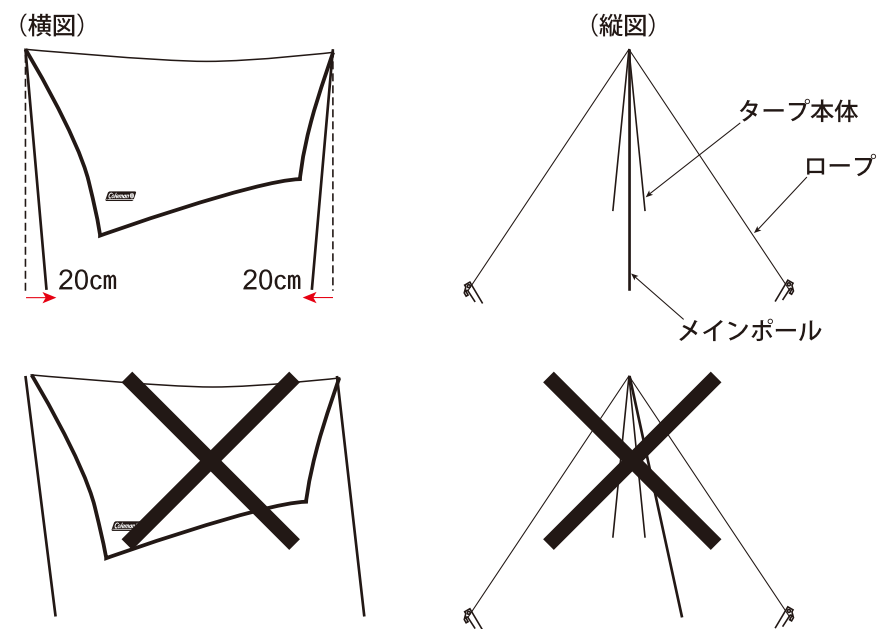
STEP 4

最初にタープ本体のグロメット、次に自在ロープ(ロング)の中間の輪の順にメインポールの先端に掛け、自在ロープ(ロング)の自在金具を調整しながら、前図A、Bの場所にポールが垂直になるように立てます。



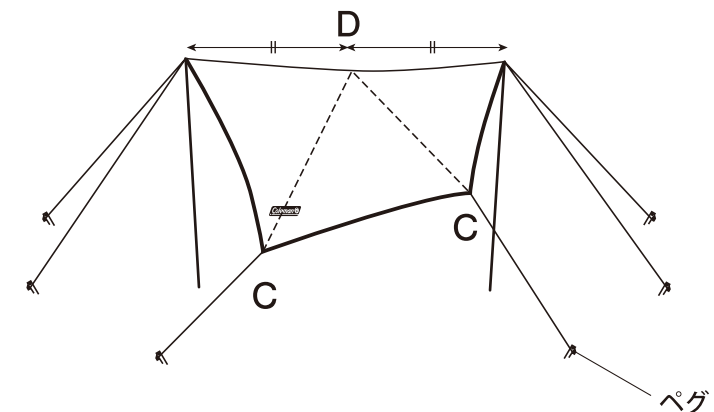
STEP 5

メインポールが垂直に立ったことを確認し、ポールを図のように20cm程内側に寄せます。
※メインポールを内側に寄せることでタープ本体が安定します。



STEP 6

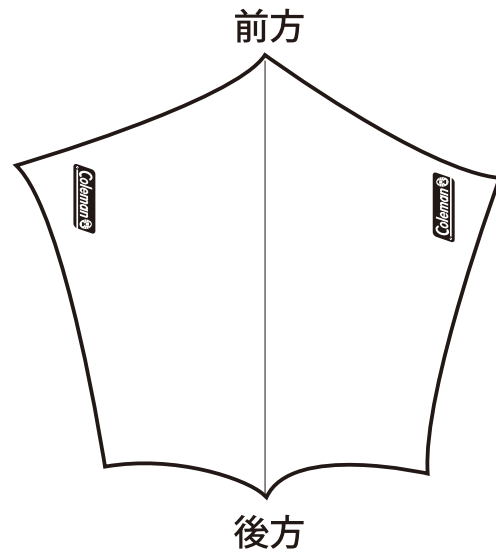
タープの四隅(下図Cの部分)に各々自在ロープ(ショート)を結び、タープの上部の中心(下図Dの部分)とCの四隅部分を結んだ線の延長方向に自在ロープ(ショート)を引き、ペグを打ちます。最後に自在ロープ(ロング、ショート)の自在金具を調節し、タープ本体にしわが出ないように調節します。



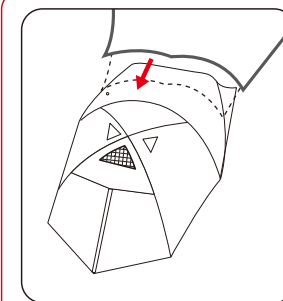
タフドームエア/240+とウインズヘキサ+の連結

注意 風が強い時は、テントとタープを連結せず別々に建ててください。その際、自在ロープとペグでしっかりとテント・タープをそれぞれ固定してください。

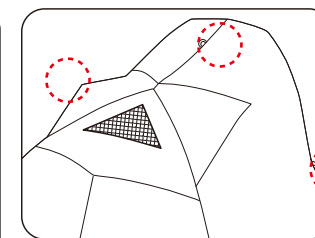
STEP 1 タープを広げます。



STEP 2

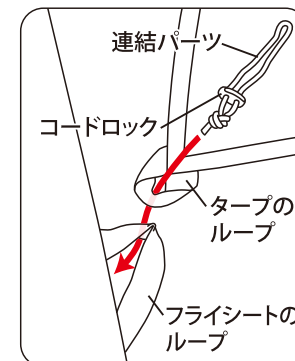
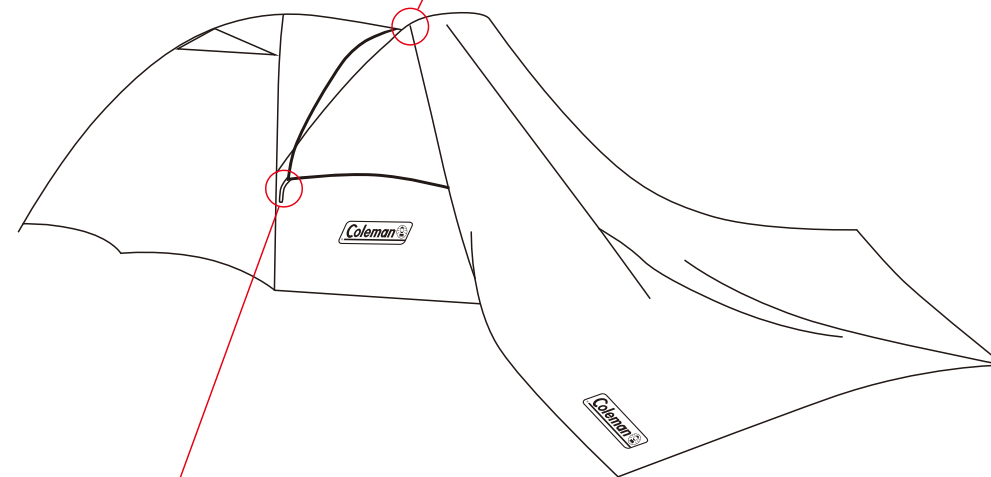


タープの後ろ端をテントのフロントポールにかけます。

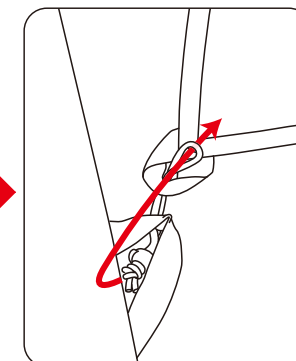


フライシートのループとタープのループを連結パーツで結びます(3ヶ所)。

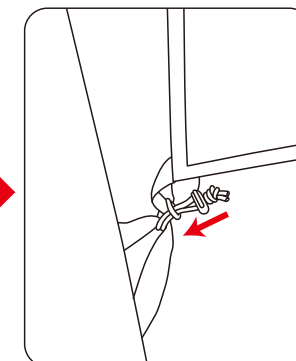
※フロントポール上にある中心のループに手が届かない場合は、一度、フロントポールを固定している面ファスナーテープとフックを外し、フロントポールを外してからフライシートとタープを連結してください。中心のループを連結したら、フロントポールを再度フライシートに固定してください。



連結パーツをフライシートとタープのループにそれぞれ通します。

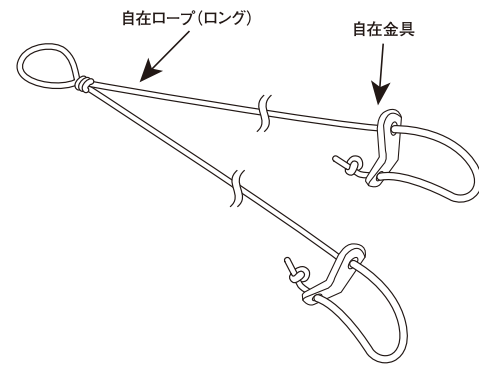


コードロックを反対側の連結パーツのループに通します。

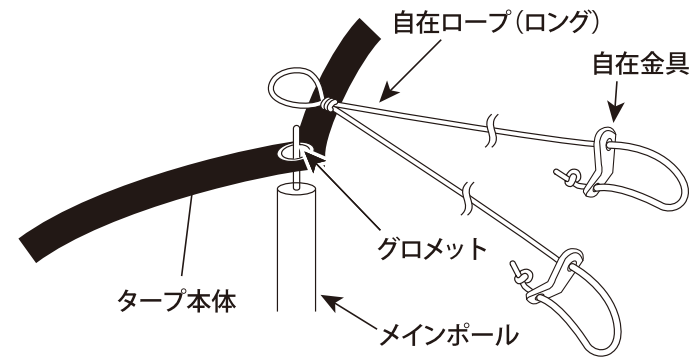


コードロックを絞ります。(フライシートやタープのシワが大きい場合は、コードロックを緩めて調節してください。)

STEP 3 自在ロープ(ロング)の中間に輪を作ります。

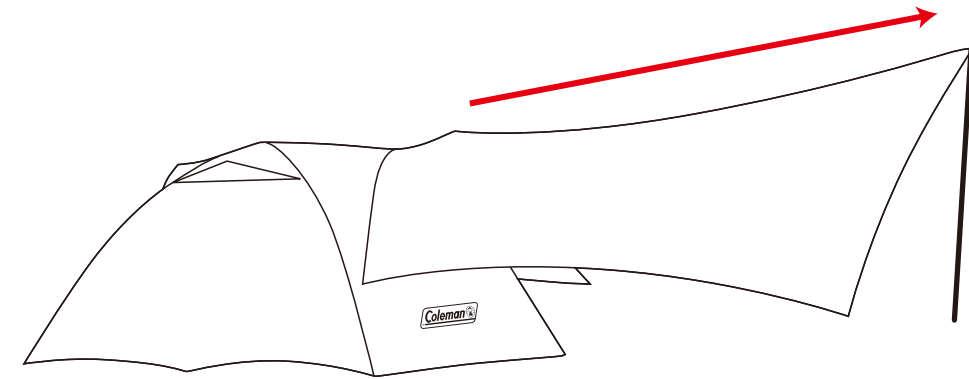


STEP 4 メインポールを伸ばし、前方のタープ本体のグロメット、次に自在ロープ(ロング)の中間の輪の順にメインポールの先端に掛けます。

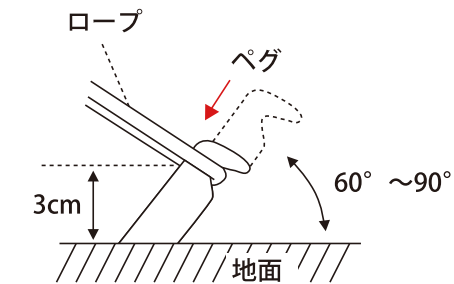
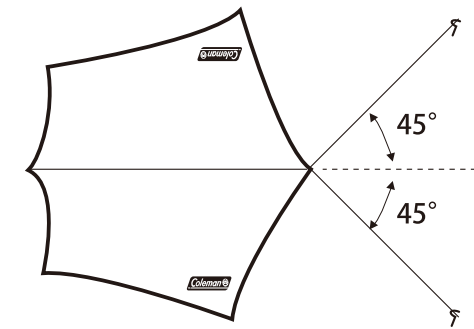


⚠️ ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。タープを張る位置はできるだけ平らな場所をお選びください。また、テントとタープの連結では、メインポール1本を使用して前方を立ち上げるため、残りの1本は使用しません。

STEP 5 メインポールをゆっくり前方に引きながらタープを伸ばし、メインポールが垂直になるように立てます。



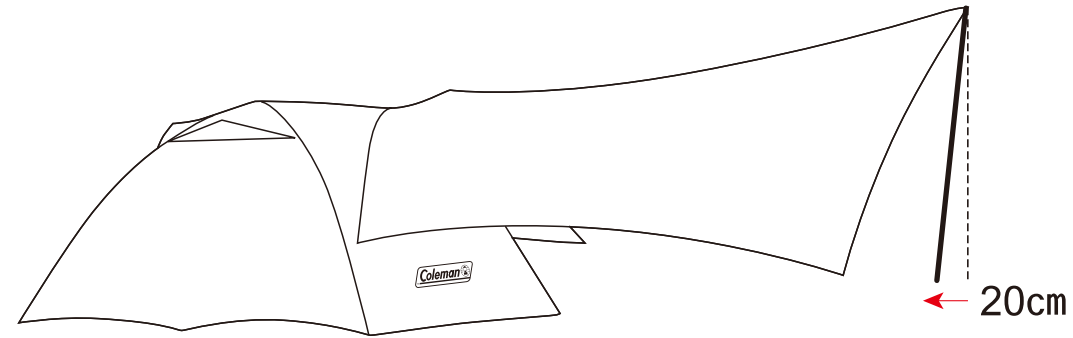
STEP 6 自在ロープ(ロング)を図のように中心の破線から各々、約45°の方向にペグで固定します。



⚠️ ペグは図のように地面から引かれる方向の反対側へ60°~90°の角度で打ち込みますと、風に対して強く設営できます。

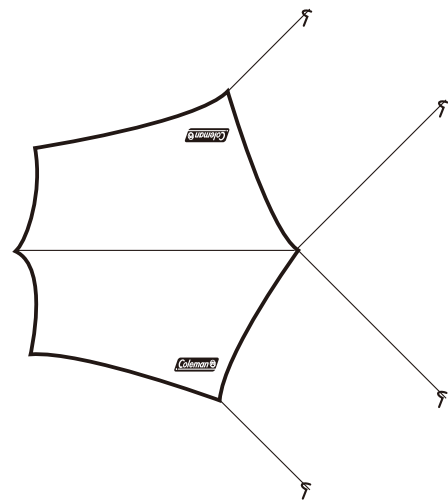
STEP 7

メインポールを図のように20cm程内側に寄せます。
 ※メインポールを内側に寄せることでタープ本体が安定します。



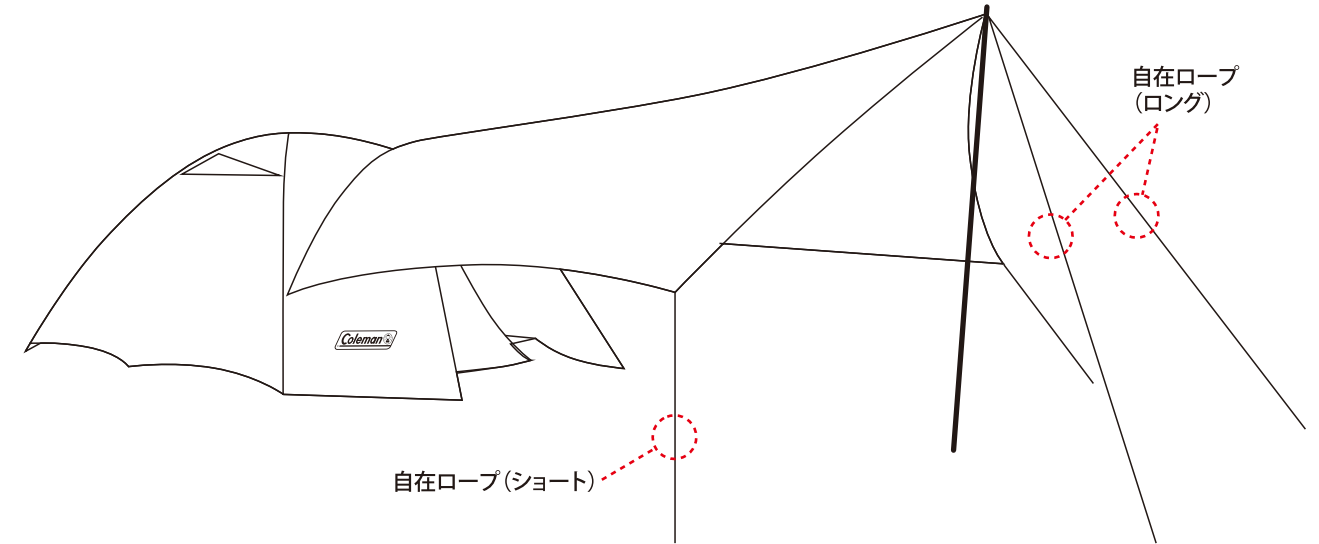
STEP 8

タープ前方左右を自在ロープ(ショート)とペグで固定します。



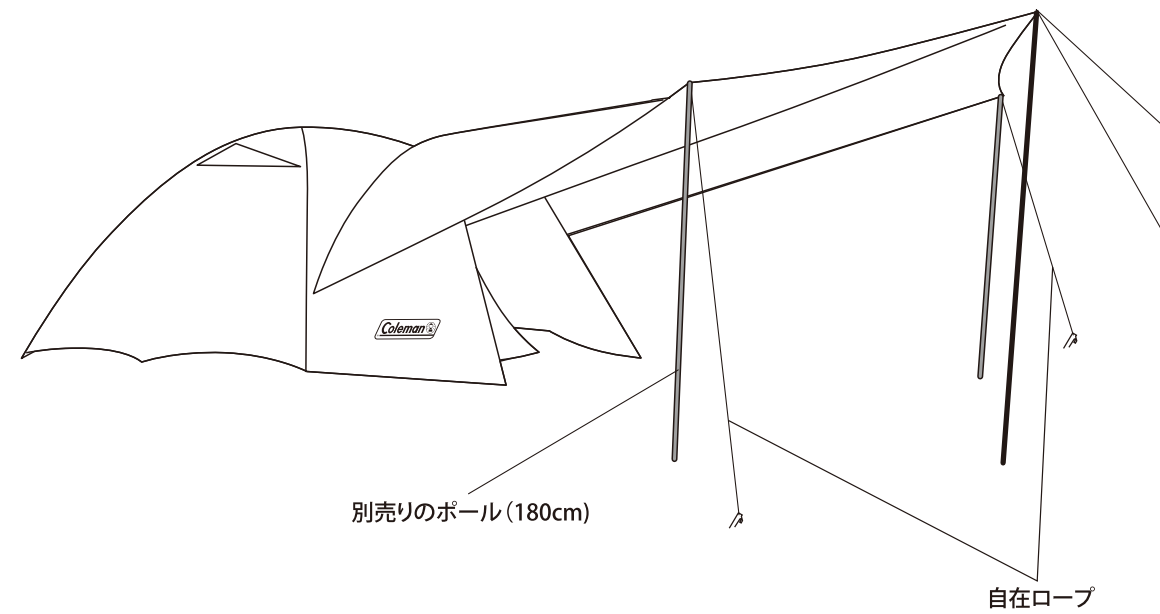
STEP 9

最後に、自在ロープ(ロング、ショート)の自在金具を調節し、タープ本体にしわが出ないように調節します。テントとタープの連結では、メインポール1本を使用して前方を立ち上げるため、残りの1本は使用しません。



張り方のアレンジ

別売りのポールで前方を立ち上げ広いシェード空間にすることが可能です。





MEMO



MEMO

